

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら川戸塚教室

保護者等数(児童数) 38名 回収数 38件(割合 100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29件	7件	2件	0件	・体を動かすスペースをもう少し広くしてほしい。 ・もう少し広いスペースがあればもっといいと思う。	活動内容に合わせて机やいすの移動して対応している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35件	2件	0件	1件		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35件	2件	0件	1件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34件	2件	0件	2件		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	33件	3件	0件	2件	・殆どの先生方は熱意、専門性を感じますが、そうでない方もいらっしゃるため。 ・精一杯やつていただいていると思い大変感謝ですが、もっと話し合いを通じて可能な限り改善していくようにしていただかなと思います。	保護者の方から信頼されるよう、一人一人が努めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36件	1件	0件	1件		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35件	3件	0件	0件		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33件	4件	0件	1件		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38件	0件	0件	0件		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31件	4件	1件	2件		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	16件	6件	4件	12件	交流の機会が増えるといいと思う	公園や児童館など公共施設への外出の機会を増やしていく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34件	2件	1件	1件		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36件	2件	0件	0件		
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29件	2件	1件	6件	・進学、就労の支援をもう少し力を入れてほしい	外部講師を招いて講演会や保護者相談会を実施している。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	36件	2件	0件	0件	ごまめに連絡いただいている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31件	6件	1件	0件		送迎時に学校や家庭で気になる言動がないかを尋ね、改善に向けて職員間で話し合ったことを保護者に伝えている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35件	3件	0件	0件		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21件	7件	4件	6件	保護者会は1回ありました。継続してほしい。	保護者懇談会の開催を年に数回に増やしていく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29件	7件	0件	2件		一つひとつの相談に対してできるだけ迅速に協議し、回答していく。また、こちらから不安なこと等がないか声かけし、話しやすい関係を保っていく。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34件	4件	0件	0件		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35件	2件	0件	1件	業務中（HUG連絡など）に気になることを確認することはある。 こばんだよりを毎月発行したり、日々の活動の様子をHUGで伝えている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	36件	1件	0件	1件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32件	1件	1件	4件	多分実施されているとは思うのですが、親の私が把握していないだけだとおもいます。申し訳ないです。 職員の研修内容をこばんだによりに記載し伝えていく。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32件	2件	0件	4件	多分実施されているとは思うのですが、親の私が把握していないだけだとおもいます。申し訳ないです。 映像を見て学んだりクイズ形式で知識を得るだけでなく、実際に避難行動がとれるかを確認していく。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33件	3件	0件	2件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31件	5件	0件	2件		事故が発生した時には発生状況や対応について保護者に連絡し、理解を得ていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36件	2件	0件	0件		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32件	4件	1件	1件	自分らしく過ごせる場所です。 毎回どんなことをするのか楽しみにしながら通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	36件	2件	0件	0件	いつもありがたく思っています。 いつもLINE等で丁寧にフォロー、ご対応いただきありがとうございます。	

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら川口戸塚教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 教員がいると思う。 適切ではある。せまい感じる場面も多くある。 プログラムの内容によっては動き動く等は行っている。 机を移動し、活動スペースを作っているが、運動系プログラム時は机を感じる。 	指導員と児童数が1：3となることを目安にしつつ、プログラムの活動内容によって適切な指導員数となるように配慮していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> たた、1人1人がもう少し全体を見ることを意識すべき。 運び方で、HUG、療育絵本を書いていない指導員もいる。 足りている日と足りない日の差があるかもしれません。 多いとき、少ないときどちらもある。 子どもの様子や職員の対応について都度細かく点検し詳しく引き受けている。 	指導員と児童数が1：3となることを目安にしつつ、プログラムの活動内容によって適切な指導員数となるように配慮していく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場が大きければ水滴が落ちにくいくらいと思う。 短い言葉や絵、図などで表現的に理解しやすく表示されている。 	児童一人ひとりに衛生感覚を持たせ、自主的行動できるようにしていく。定期的に換気をおこなったり、手指消毒を促している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 高学年には少し狭いかもしれない。 床汚れを感じたときは拭くときもある。 日々、手洗い後の床が水でぬれていることがある。 	児童一人ひとりに衛生感覚を持たせ、自主的行動できるようにしていく。定期的に換気をおこなったり、手指消毒を促している。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6件	0件	<ul style="list-style-type: none"> トイレが個室として利用されることがある。 防犯可能な窓や面談室がない。 専用の部屋はないが、相談室を利用して対応可能。 指導をしたうえで児童から別室で対応する場合もある。 	来客などでの他の部屋が使えなくなる場合の対応はどうしていくか。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6件	0件	<ul style="list-style-type: none"> プログラムなど、やり組んで振りわたりになっているため、次につながっているとは感じない。 	事前にプログラムの狙いを職員同士共有し、できたこと・できなかつたことを確認するとともに改善点を話し合い、次回に生かしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインアンケートを活用し、日常的にはLINEでのやり取りで意向をつぶさに確認している。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8件	0件	<ul style="list-style-type: none"> パート職員や午後勤務の職員の意見を開くべき。 意見は把握しているが業務改善になっていない。 保護者同士の会話を聞き取る機会を設けたこと。 ミーティング会議が機能している。 児童が来る前にミーティングを行っているが、時間が足りない時 	話し合った内容を必ず伝え合う。誤事跡を残し、いつでも確認できるようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 監査等の制度について熟読しておらず答えられません 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10件	0件		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動内容は当日ならと分からないことが多い。 	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 子ども本人のニーズも引き出し、主体性や目的意識につなげたい。 児童よりも保護者のニーズが優先されることが多い。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 計画の共有 時間を取って話し合う機会が少なく、回観形式で付箋にコメントを記入してもらい修正している。 職員同士での話し合いを設ける時間があまりない。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 個別に取り組む課題の実施が難しいときもあると感じる。 アセスメント結果が帳簿に保管され、職員に共有されている。 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたアセスメントツールはないのではないかと思われる。 日々の活動への取り組み状況を「療育記録」として残している。 	気になる児童について、予兆となる言動や対応方法を共有しておく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達状況により、支援目標に当たりがあることもある。 	児童の達成状況に合わせ、必要に応じて新しい目標を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5件	0件	<ul style="list-style-type: none"> チームでは行かない。 個人でプログラムを作成している。 個人で考えていると思われる。 担当指導員に任せられている。職員同士相談し助言を受けることはできている。 	慣れない指導員を他の職員がフォローしながら立案する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11件	0件		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10件	0件	<ul style="list-style-type: none"> 空き時間を利用して個別に指先トレーニングを進めている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ただ勤く職員は固定されている気がする。 支援終了後に、打合せは行えないのが、BANDで共有している。 支援終了後は時間がなく打合せすることが少ない。 内容の詳細や目的も共有したい。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングやバンドで共有している。 送りの送迎後に気がついたことなどを話し、共有している。 バンド利用 	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10件	0件	・モニタリングは行えていないと思う。 ・保育記録が確実に残されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8件	0件	・モニタリングの実施状況について熟知しておらず答えられません。	保育記録を確認し、達成状況に合わせて支援目標を再設定していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8件	0件		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9件	0件	・おやつやクリエーションへの選択に工夫をしている。 ・児童の特性に合わせて支援の度合いを変え、どこまでなら自分でできるかを児童と確認しながら進めていく。 ・自己決定の機会をとらえて促します。	相談支援で対応し、必要に応じて会議をおこなう。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8件	0件	電話で来されで情報交換はある。	相談支援で対応し、必要に応じて会議をおこなう。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6件	0件	・関係機関との連携の具体的状況について熟知しておらず答えられません。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11件	0件	保護者の協力を得る必要がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7件	0件		児童クラスの指導員から引き継ぎ事項として、児童の特性や家庭環境、保育所や幼稚園での活動の様子など情報を共有している。
保護者への説明等	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5件	0件	・していない。 ・関係機関との連携の具体的状況について熟知しておらず答えられません。 ・外部機関でも利用可能な情報作成に努める。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5件	0件	・関係機関との連携の具体的状況について熟知しておらず答えられません。	各自、研修への参加を検討している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4件	0件	・外部との子どものかかわりが少ないを感じる。 ・外部とのかかわりが少ないと思われる。 ・地域のイベントや公園に出かけることも多い。 ・採用後そのような機会が設けられた記憶はない。	他教室とのプログラム連携を図っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5件	0件	・関係機関との連携の具体的状況について熟知しておらず答えられません。	
保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11件	0件	・HUGや送迎の際に一日の活動について話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8件	0件	・外部講師による講演会を開催している。 ・頻度は低い	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8件	0件		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10件	0件	・こども本人の意向や利益への考慮に不足。	
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9件	0件		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10件	0件		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8件	0件	・保護者会は1度開催している。 ・保護者会はあつたが兄弟間の交流がないです。 ・開催回数を増やすといふ人用はあります。	保護者懇談会の開催を今後増やしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9件	0件		
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	10件	0件	毎月「ごはんだりょう」を発行し、活動の様子や教室の取り組みを保護者にお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11件	0件	個別ファイルを書面に保管し、退勤時に必ず施錠している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11件	0件	短く平易な言葉を用いて伝えるよう配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5件	0件		今後の参加を予定している。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8件	0件		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8件	0件	研修をおこない、職員一人一人意識を高めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11件	0件		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10件	0件	児童のアレルギーについて保護者から聞き、アレルギー反応を起こす恐れのないものを選び提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9件	0件		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8件	0件		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6件	0件	・ヒヤリハットを書いていない。 ・記録を残すことができていないと感じる。	ひと月に10件の記録を目標に設定する。適切な対応を共有し、実践していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8件	0件	・呼び捨てをしたり、あだ名で呼ぶ人がいる。 ・必要以上に児童への距離が近い職員がいる。上司へは報告している。 ・詳しい研修（マルトリ）が行われている。	虐待にあたる言動について研修会を開いたり教室内に掲示し、注意喚起をおこなっている。また、毎日ミーティングで児童への対応方法を共有している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9件	0件	契約時に説明しているほか、個別支援計画にも身体拘束の3要件を記載している。	